

講習会報告書

京都田辺山友会

報告者 森本

山名	第42回近畿ブロック搬出技術講習会・初級コンパニオンレスキュー班		
場所	大文字安祥寺林道入口付近		
講習日	2023年4月2日(日)	天候	晴れ
参加者	男性： 森本 女性： 林		

報告

まずは全体で「鹿除け用ネット」を使用しての負傷者搬送を見学する。ネット(約45g)にポール(3人分6本)をさし6名で搬送すると安定していた。(ホームセンターで購入できるネット自体は軽く共同装備としての携行を推奨)

班分け(受講者6名、講師3名)後に簡易ハーネス(チェストハーネス)の作り方を学ぶ。今までのやり方と少し違いステップアップできた。ロープの結び方はフィギアエイト・オン・ア・バイトとフィギアエイト・フォロースルー(8の字)とクローブヒッチを再確認する。



○カラビナスルー

鎖場などの通過の際の安全確保として実践する。簡易ハーネス(120cmスリング)に取り付けた安環付カラビナに2本の60cmスリングをクローブヒッチで固定し更にその先にカラビナをクローブヒッチで結ぶ。この2本のカラビナを付け替えながら移動する。

○細引きでの登り降り

ハイキング中の転落者の状況確認のために急斜面を安全に登り降りすることを想定している。また各自が10m程度の細引きを携行している。

支点の結び方はエバンスノットを習得する。持っている細引きの長さが足りないときはオーバーハンドノット(丸結び)で繋ぐ。60~70cm間隔でループ(輪っか)をオーバーハンドノットで作る。カラビナスルーのシステムで2本のカラビナを付け替えながら移動する。

1日の講習会でシステムを習得するため、オーバーハンドノットで統一されている。テンションがかかった時の解き難さを考慮すると、ループはバタフライノット等アレンジすればよいでしょう。

近畿ブロックということで兵庫の方と同じ班になり、情報交換し交流が出来た。今までは室内で訓練を実施しており、山中での訓練でよく理解できたとの感想にいささか驚く。

最後のあいさつで「このような搬出技術を使わなくて済むような山行が望ましいが、人間にミスは起こる。いざという時には習っていないと助けることができない。」という言葉が残りました。

感想文

<林>

無雪期搬出訓練って何かな？と以前から気になっていたのので軽い気持ちで申し込みました。簡易ハーネスとカラビナで横に張られたロープを移動。急な斜面に一定の間隔で丸結びを作り、そのロープを上下移動。実際に傾斜で何度も練習できて、有意義な時間でした。スムーズに移動できるように日頃からの練習が必要だと思いました。どのようにすれば安全性が高まるかなどのコツや多彩なロープワークも教わりました。また、初心者の質問にも丁寧に答えてくださいました。最初は一人で申し込み、心細いかなと思いましたが森本さんとご一緒できて心強かったです。さらに奈良、兵庫、滋賀の方とお話できたのは新鮮でした。機会があれば、また参加したいと思います。



山行部からのお知らせ

2023年度 山行行事計画（変更）

<例会追加>

5/24（水）六甲山縦走その2 CL 木田 SL 蒲田

<中止>

5/7（日）大台ヶ原 CL 井上 SL 永江

8/5（日）飯盛山（淀川花火大会鑑賞） CL 藤本

<日程変更>

×5/6（土）赤ヤシオの桃源郷ハライド（三重県鈴鹿） CL 山下隆

○4/29（土）に変更